### 幼児用救命胴衣の浮遊性能評価に関する調査研究

(14年度)(抄)

#### 1.事業目的

小型船舶に搭載される小型船舶用救命胴衣の中で、従来の小児用より小さい幼児 用救命胴衣について自己復原性を備えたものが新たに規定され、常時着用化が義務 付けられる予定である。

救命胴衣の水中における浮遊性能を評価するためには、一般にその救命胴衣が対象 とするサイズに合った人体被験者による浮遊試験が行われている。

この方法で、大人用及び小児用救命胴衣の性能評価が可能であるが、幼児用については、幼児被験者による有効な浮遊試験等が困難である。

このため、幼児被験者の代わりとなり、幼児用救命胴衣の浮遊性能を評価するために必要な幼児ダミーを製作し、これにより、幼児用救命胴衣の評価方法を確立し、この種の胴衣を普及させることを目的とする。

### 2. 事業の内容(計画)

体重9kg(日本人幼児1歳~2歳に相当)14.5kg(日本人幼児3歳~4歳に相当)及び18kg(5歳~6歳に相当)を想定して、日本人の幼児の特性を把握した上で、幼児ダミーを製作し、幼児用救命胴衣の浮遊性能評価方法及び試験法を確立する。

(1)初年度においては、次の事項について調査研究を行う。

日本人幼児(1歳~2歳、3歳~4歳及び5歳~6歳を対象)の人体計測 値調査及び幼児の人体測定、重心測定等、

3歳~4歳用の幼児ダミーの調査及び製作

幼児ダミーによる浮遊試験の実施

幼児用救命胴衣性能評価法の検討及び自己復原性の評価法の確立

#### 3. 事業の実施結果及び成果

### 3.1 実施結果

平成 14 年度事業計画にもとづき、事業遂行にあたり「幼児用救命胴衣の浮遊性 能評価に関する調査研究委員会」を 3 回開催し、所要の審議、検討を行い、所期 の成果を挙げた。

この間、作業部会を4回開催し、試作品の評価、検討等を行った。

日本人幼児1歳~6歳児の体形について、文献調査及び幼児被験者による人体 各部位の寸法、体積、重量及び重心等を測定

幼児ダミー(3歳~4歳の幼児、標準体重14.5kg)の設計及び製作

(参考)製作した幼児ダミーを写真1に示す。

4種の性能の異なる評価用の救命胴衣(幼児3歳~4歳用)の製作 浮遊試験の実施

- a.幼児被験者による浮遊試験の実施
- b.幼児ダミーによる浮遊試験の実施

(参考)幼児ダミーによる浮遊試験の状況を写真2に示す。

各データを解析・評価し、幼児用救命胴衣(3歳~4歳用)の浮遊性能の評価方法(案) を作成した。

なお、次年度は、14年度より小型の人体代替の試験用幼児ダミー2体を製作し、 幼児用救命胴衣の浮遊性能の評価方法を総合的に確立する。



写真 1 3.5 歳幼児ダミー



写真 2 幼児ダミーによる浮遊 試験の状況

#### 3.2 事業の成果

平成14年度は、2ヵ年事業の初年度として、幼児ダミーによる救命胴衣の評価方法を確立するため、先ず、日本人幼児1歳~6歳までの体形を把握するため、各種文献の調査及び幼児被験者各部位の寸法、体積、重量、また、全体の重心等を実測して、幼児用ダミーの標準的な仕様を定めた。これにより、3~4歳の幼児で標準体重14.5kgに相当する幼児ダミーを設計・製作して、4種の性能の異なる救命胴衣を用いて、幼児ダミーと被験者による浮遊性能の比較試験を実施し、3歳~4歳用の幼児ダミーによる救命胴衣の性能評価方法(案)を作成した。

# 幼児救命胴衣の浮游性能評価に関する調査研究委員会

| 为为3505000000000000000000000000000000000 |         |               |  |  |  |  |
|---|---------|---------------|--|--|--|--|
| 委員長                                     | 長田 修    | 元(独)海上技術安全研究所 |  |  |  |  |
| 委 員                                     | 板垣 恒男   | 製品安全評価センター    |  |  |  |  |
| "                                       | 金湖 富士 元 | (独)海上技術安全研究所  |  |  |  |  |
| "                                       | 上村 宰    | (財)日本舶用品検定協会  |  |  |  |  |
| "                                       | 坂下 広朗   | 日本小型船舶検査機構    |  |  |  |  |
| "                                       | 加賀山 譲   | 高階救命器具 (株)    |  |  |  |  |
| "                                       | 高田 義則   | 東洋物産 (株)      |  |  |  |  |
| "                                       | 小川 輝夫   | 日本救命器具(株)     |  |  |  |  |
| 委 員                                     | 南部 大気   | 日本船具(株)       |  |  |  |  |
| "                                       | 新井 正純   | 藤倉航装 (株)      |  |  |  |  |
| オブザーバー                                  | 松本 憲一   | (株)エス・テック     |  |  |  |  |
| 関係官庁                                    | 清水 武史   | 国土交通省 海事局     |  |  |  |  |
| "                                       | 高松 正徳   | 国土交通省 海事局     |  |  |  |  |
| "                                       | 高橋 賢次   | 国土交通省 海事局     |  |  |  |  |
| 事務局                                     | 武山 誠一   | (社)日本船舶品質管理協会 |  |  |  |  |
| "                                       | 安部 信之   | (社)日本船舶品質管理協会 |  |  |  |  |
| "                                       | 高原 邦夫   | (社)日本船舶品質管理協会 |  |  |  |  |

# 幼児救命胴衣の浮游性能評価に関する調査研究作業部会

| 部会長    | 板垣 恒男 | 製品安全評価センター    |  |
|--------|-------|---------------|--|
| "      | 坂下 広朗 | 日本小型船舶検査機構    |  |
| "      | 加賀山譲  | 高階救命器具 (株)    |  |
| "      | 高田 義則 | 東洋物産 (株)      |  |
| "      | 小川 輝夫 | 日本救命器具(株)     |  |
| "      | 南部 大気 | 日本船具 (株)      |  |
| "      | 新井 正純 | 藤倉航装(株)       |  |
| オブザーバー | 松本 憲一 | (株)エス・テック     |  |
| 関係官庁   | 清水 武史 | 国土交通省 海事局     |  |
| "      | 高橋 賢次 | 国土交通省 海事局     |  |
| 事務局    | 武山 誠一 | (社)日本船舶品質管理協会 |  |
| "      | 安部 信之 | (社)日本船舶品質管理協会 |  |
| "      | 高原 邦夫 | (社)日本船舶品質管理協会 |  |